

「防衛施設周辺の生活環境整備に関する法律」の一部改正とは

清水 義朋 議員

質問 4月27日発行の官報に載った「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律の一部改正」とは、9条交付金の関係かと思うが、具体的にどのような改正で、どのような変化があるのか、ないのか伺いたい。

市長 本改正では、9条交付金の対象に従前のハード事業に加えソフト事業や、公共施設整備に関する基本構想策定費などが追加され、ハード、ソフト事業ともに2年度以上継続する事業は基金運用が認められ

た。また、再編交付金のハード事業も基金運用が可能となった。今後、これら交付金を有効活用していきたい。



▲横田基地第2ゲート

自主防災組織について

柳川 英司 議員

質問 さきの東日本大震災等を見て地域住民主体の自主防災組織と初期始動がいかに大事であるか知らされた。また高齢者、在宅要援護者の災害時支援体制としての役割もあると思うが、その組織の現状はどうか。

市長 自主防災組織は町会・自治会会員に限らず全市民対象と考えているが、問題は町会・自治会会員以外の市民にどう参加してもらうかで、未加入者も活動に参加し、隣同士の交流を深め、地域の防災体制が充実されるよう

願っている。災害時要援護者登録制度も開始したので、安否確認等支援もお願いしていきたい。



▲平成22年度総合防災訓練

どのように支援しているのか 活躍する市民活動団体へ

武藤 政義 議員

質問 市民との協働がますます重要となっており、市民活動団体は市にとっても貴重な存在となっていると思うが、具体的にどのような支援をしているのか伺いたい。

市長 公益的な活動の拠点として輝き市民サポートセンター設置を初め、活動中の事故等に対する「市民活動災害補償制度」、活動の展開と自立を財政的に支援する「市民活動団体事業支援補助金制度」の導入と、市民との相互理解推進のため「市政

出前講座」も行っているが、今後は学習機会の提供等お互い支え合っていける社会に向け努力していきたい。



▲輝き市民サポートセンターの講座

市内での放射線量の測定が必要だと考えるが、測定状況は

阿南 育子 議員

質問 福生市でも放射能の影響があるのではないかと心配があり、測定結果を公表することにより信頼が得られ、風評被害予防にもなると思うが、東京都の測定ポイントは新宿一カ所のみで、福生市内でも測定が必要だと思う。測定状況は。

市長 6月初め「ヤゴ救出作戦」前に市営プールの貯留水を測定し、ホームページで公表しているが、市単独より多摩地域全体で高精度の機器により測定して対応することが重

要と考え、今後も国や東京都、他市の動向を把握し、対応していきたい。



▲放射線量の測定

一般質問(要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、18人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。質問方式は3種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用方式(一括と一問一答の併用)のいずれかを議員が選択し、質問しました。

概略の掲載は一問とし3ページから5ページに掲載しました。一般質問の項目は6ページにすべて掲載してあります。

詳しくは、8月下旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市ホームページからご覧ください。

なお、この一般質問の掲載内容は、質問議員に確認してあります。

山の老朽化が招く濁流 多摩川の河床対策は

串田 金八 議員

質問 平成19年、奥多摩地方に降った700ミリの雨で南公園は濁流に飲み込まれたが、上流の山が浸食され、土砂崩れ等で多摩川の河床が高くなっていたため、河床が低ければ避けられたと聞く。国土交通省の見解とその対策について伺いたい。

市長 国土省は過去にも昭和堰上流の土砂掘削をしている。河川整備計画では堰5カ所の施設管理者と連携し対策を行うとして、昭和用水堰も計画しているが、治水効果等総合

的に勘案し順次行うため、現在は川崎市の堰を工事中だが、引き続き昭和用水堰の対策を要請していく。



▲被害を受けた南公園

商店街活性化で地域振興を

町田 成司 議員

質問 バブルが崩壊し、日本経済も大変厳しい中に置かれているが、当市の商店街の現状をどのように理解し、商店街活性化策をどのように考えているのか具体的に伺いたい。

市長 商店街の活性化は適切な役割分担に基づき商工会等の関係組織と連携して個々の商店や商店街の主体性を確保しつつ、合意の形成を図りながら取り組んでいくことが必要である。商店街全体の合意の上で顧客獲得の取り組みを進めるために

ワークショップを開催し、イベントが後の顧客獲得のきっかけとなるよう協議しながら進めることになった。



▲商店街(銀座通り)

国道16号線拡幅事業 市の関与は

乙津 豊彦 議員

質問 16号線拡幅事業は、今後、武蔵野橋のかけかえ、6車線化、五日市街道と接続する部分の整備等があるが、事業計画に対する市の関与についてわかる範囲で説明願いたい。

市長 工事中の市民生活への影響緩和を始め完成後の交通騒音、歩行者・自転車、緑化対策等整備計画に住民の意見を反映させる必要があるため、相武国道事務所と連絡を密にし、また地元説明会や、当市と昭島市の地元町会から選出されたメン

バーによるワークショップへ参加するなど、市民要望を取り入れた国道16号線が完成するよう努力している。



▲国道16号武蔵野橋南交差点